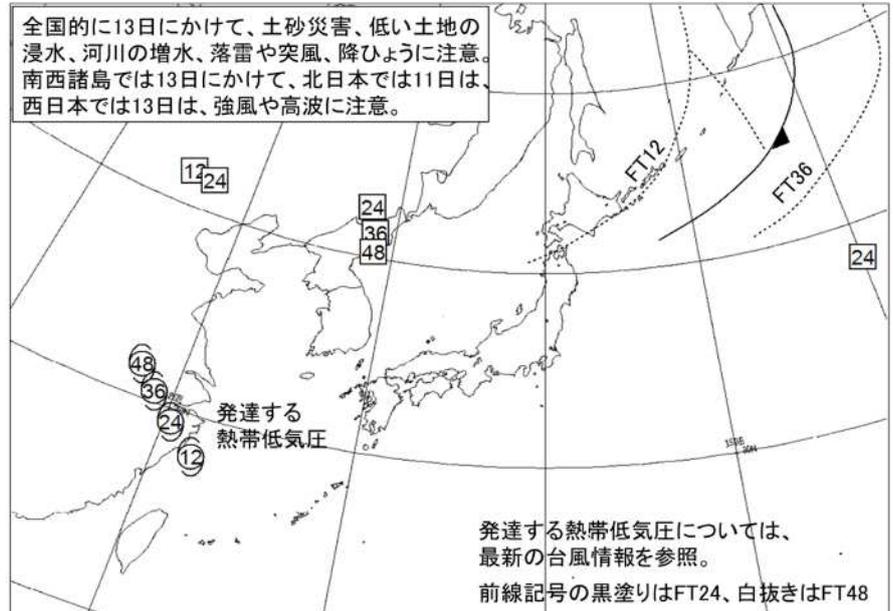


1. 実況上の着目点

- ① 東シナ海には、熱帯低気圧があって北西進。熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、南西諸島と西日本では、雷を検知し1時間に30mm以上の激しい雨を解析している所がある。
- ② オホーツク海に低気圧があって、北東進。寒冷前線が北海道地方にのびる。北海道地方では1時間に20mm以上の強い雨を解析している所がある。
- ③ 10日21時にマリアナ諸島で台風第13号が発生し、北西進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の熱帯低気圧は、今後台風に発達し、11日夜には華中付近に進む。南西諸島と西日本では、熱帯低気圧や台風周辺の下層暖湿気が流入し、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。南西諸島では12日にかけて、西日本では11日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や突風に注意。
- ② 1項②の低気圧からのびる寒冷前線が、11日朝にかけて北海道地方を通過する。前線近傍では、上空寒気や下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹く所がある。北海道地方では11日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ③ 1項③の台風は、発達しながら13日にかけて日本の南を北西進。南西諸島では、周辺の下層暖湿気が流入し、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなりしける所がある。南西諸島では13日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や突風に注意。また、西日本太平洋側では13日は、うねりを伴った高波に注意。
- ④ 本州付近は13日にかけて、500hPa5880m以上の上空の高気圧に覆われる。西～東日本、東北地方では、晴れて気温が上昇し猛暑日となる所がある。熱中症に注意(熱中症警戒アラートを参照)。また、日射による昇温で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ①雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。②波浪(明日まで)：沖縄3m。③高潮(明日まで)：東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。